



2026年7月25日の電力需給

全国

△ 全国合計需要ピーク
13,268万kW
13時、132,676 MW（10
エリア同時刻合計）

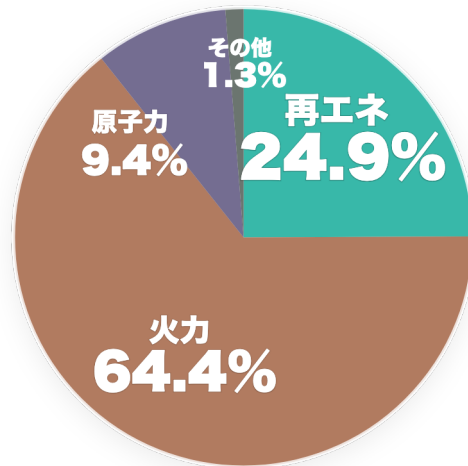
≈ 風力ピーク
117万kW
19時30分、1,172 MW

↔ 最大受電エリア
東京
114 GWh

☀ 太陽光ピーク
4,881万kW
11時30分、48,808
MW（自家消費分除く）

◇ 再エネ最大需要
比
45.4%
11時、需要に対する割合

↔ 最大送電エリア
東北
101 GWh



概況

再エネ比率トップ

北海道 47.9%
37.3 GWh

揚水・蓄電の充電

65.4 GWh
発電構成比には含めない

出力抑制量

0.0 GWh
最大: 北海道 0.0 GWh

日中の特徴

太陽光と夕方需要の時間差
多くのエリアで18-19時台に需要ピーク



- 需要ピークが最も大きかったのは東京で、12:00に4,692万kWでした。
- 再エネ比率は北海道が最も高く、発電電力量ベースで47.9%でした。
- 出力抑制は確認されませんでした。

項目	値	補足
再エネ発電 量比率	24.9%	発電電力量ベース
再エネ発電 量	677 GWh	太陽光・水力・風力・バイオマス・地熱
総発電電力 量	2,713 GWh	発電構成比の分母
再エネ最大 需要比	45.4%	11時
出力抑制量	0.0 GWh	最大: 北海道
揚水・蓄電 の充電	65.4 GWh	発電構成比には含めない

エリア	再エネ比率	再エネ発電量 (GWh)	出力抑制 (GWh)	連系線・ その他 (GWh)
北海道	47.9%	37.3	0.0	送電 7.6
東北	28.4%	84.2	0.0	送電 101
東京	18.7%	149	0.0	受電 114
中部	33.7%	113	0.0	受電 67.1
北陸	30.9%	25.6	0.0	送電 4.9
関西	17.4%	76.5	0.0	受電 40.3
中国	28.9%	58.3	0.0	送電 17.3
四国	25.5%	31.5	0.0	送電 40.7
九州	29.9%	97.4	0.0	送電 32.4
沖縄	10.5%	3.3	0.0	—



2026年7月25日の供給実績

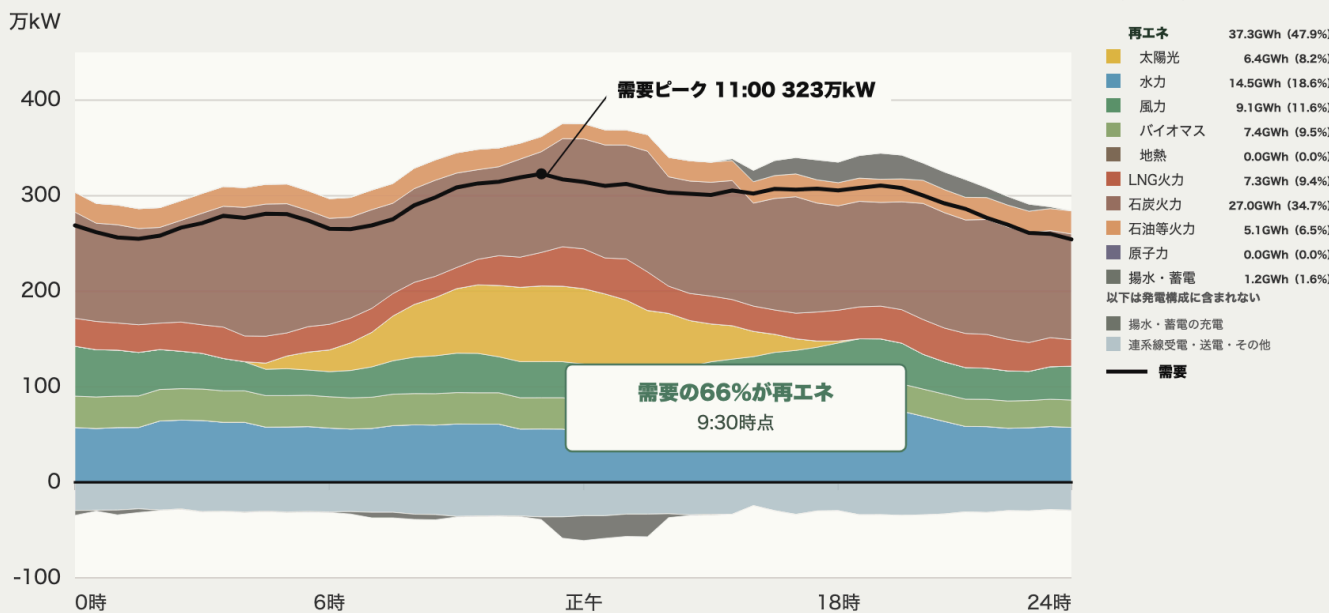
北海道エリア

再エネ

37.3GWh

(発電電力量ベース47.9%)

北海道エリア 2026年7月25日の供給実績（残余需要方式）



出典: 北海道電力ネットワーク公表のエリア需給実績データ（2026年7月CSV）

各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。残余需要=エリア需要-水力-地熱-バイオマス-太陽光-風力。

総発電電力量

78.0GWh

需要ピーク

11:00、323万kW

連系線・その他

7.7GWhの送電

揚水・蓄電の充電

0.9GWh

出力抑制

0.0GWh

概況

北海道は、太陽光ピーク79万kW、風力ピーク52万kWで、時間別の再エネ最大需要比は66.1%だった。



2026年7月25日の供給実績

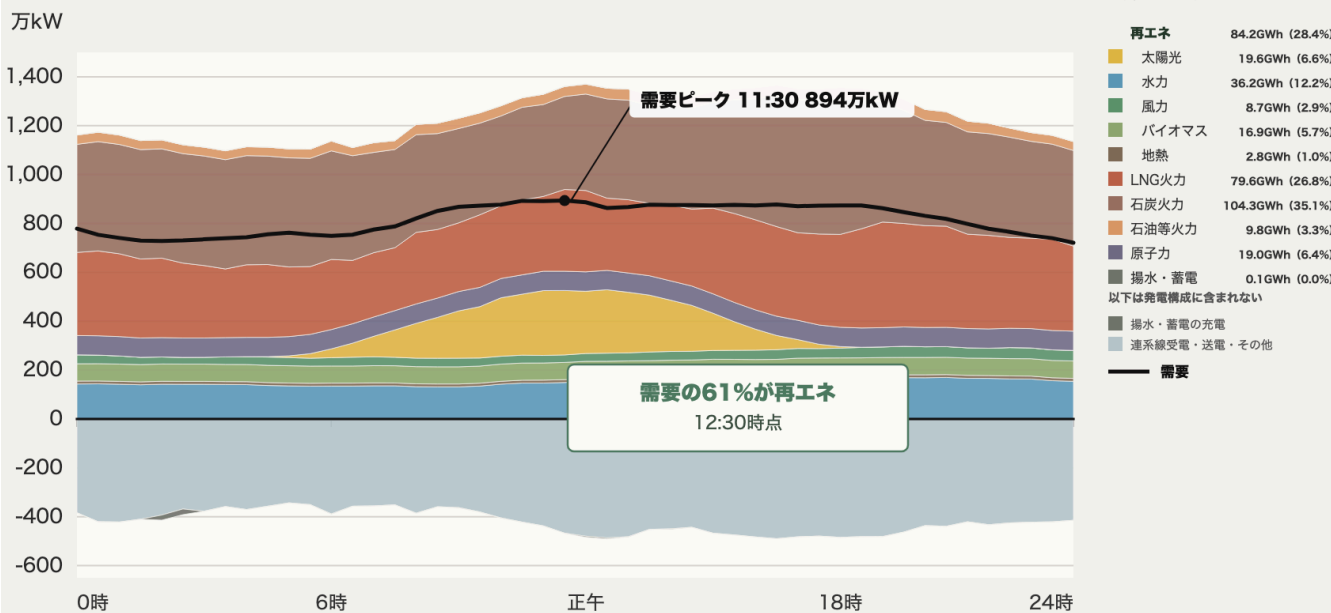
東北エリア

再エネ

84.2GWh

(発電電力量ベース28.4%)

東北エリア 2026年7月25日の供給実績（残余需要方式）



総発電電力量

296.9GWh

需要ピーク

11:30、894万kW

連系線・その他

101.1GWhの送電

揚水・蓄電の充電

0.3GWh

出力抑制

0.0GWh

概況

東北は、太陽光ピーク265万kW、風力ピーク46万kWで、時間別の再エネ最大需要比は61.3%だった。



2026年7月25日の供給実績

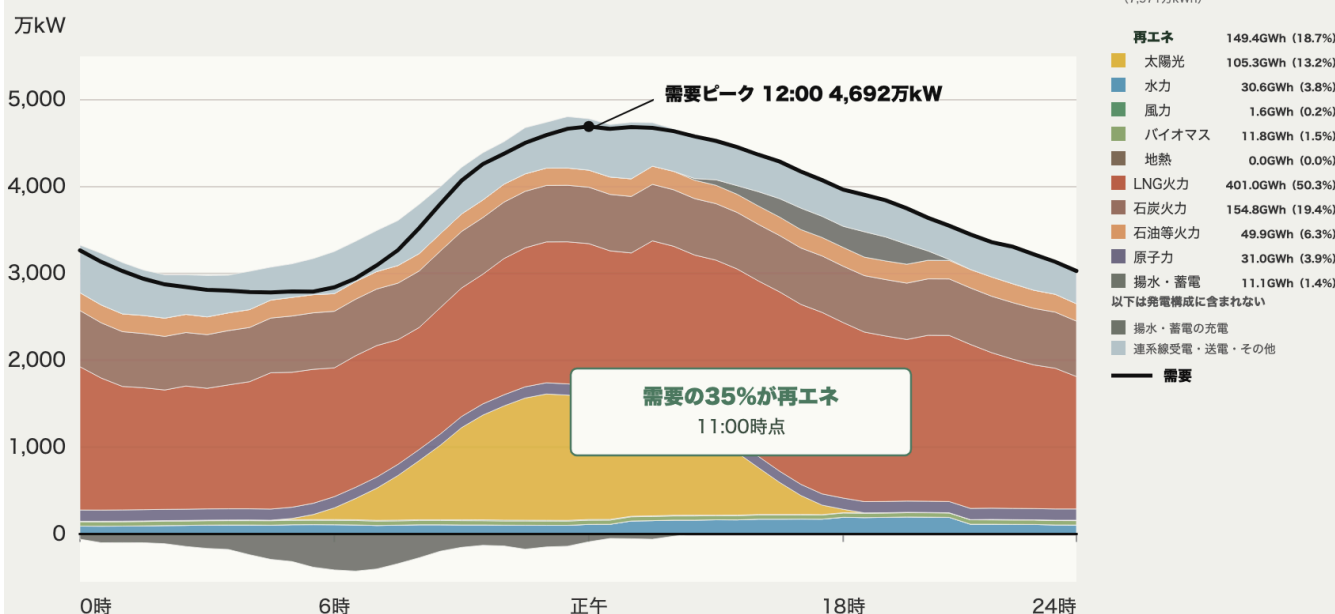
東京エリア

再エネ

149.4GWh

(発電電力量ベース18.7%)

東京エリア 2026年7月25日の供給実績（残余需要方式）



出典: 東京電力パワーグリッド公表のエリア需給実績データ (2026年7月CSV)

各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。残余需要=エリア需要-水力-地熱-バイオマス-太陽光-風力。

総発電電力量

797.1GWh

需要ピーク

12:00、4,692万kW

連系線・その他

113.8GWhの受電

揚水・蓄電の充電

26.9GWh

出力抑制

0.0GWh

概況

東京は、太陽光ピーク1,453万kW、風力ピーク11万kWで、時間別の再エネ最大需要比は35.1%だった。



2026年7月25日の供給実績

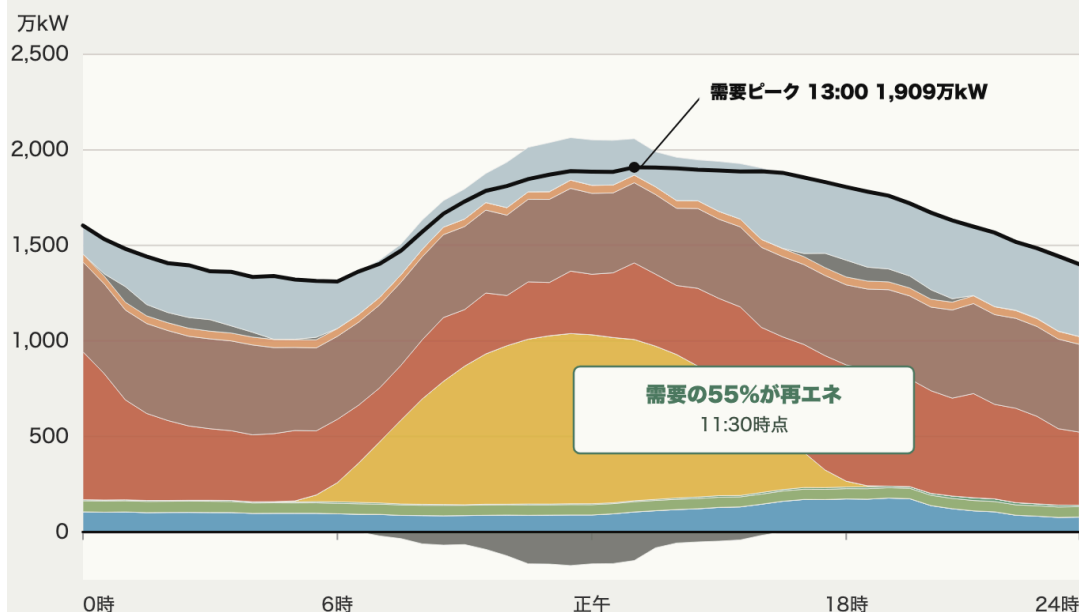
中部エリア

再エネ

112.8GWh

(発電電力量ベース33.7%)

中部エリア 2026年7月25日の供給実績（残余需要方式）



発電構成比

総発電電力量: 335GWh
(3,348万kW)

再エネ	112.8GWh (33.7%)
太陽光	71.3GWh (21.3%)
水力	26.7GWh (8.0%)
風力	1.6GWh (0.5%)
バイオマス	13.1GWh (3.9%)
地熱	0.0GWh (0.0%)
LNG火力	102.1GWh (30.5%)
石炭火力	105.8GWh (31.6%)
石油等火力	9.8GWh (2.9%)
原子力	0.0GWh (0.0%)
揚水・蓄電	4.3GWh (1.3%)
以下は発電構成に含まれない	
揚水・蓄電の充電	
連系線受電・送電・その他	

出典: 中部電力パワーグリッド公表のエリア需給実績データ (2026年7月CSV)

各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。残余需要=エリア需要-水力-地熱-バイオマス-太陽光-風力。

総発電電力量

334.8GWh

需要ピーク

13:00、1,909万kW

連系線・その他

67.1GWhの受電

揚水・蓄電の充電

8.7GWh

出力抑制

0.0GWh

概況

中部は、太陽光ピーク891万kW、風力ピーク14万kWで、時間別の再エネ最大需要比は55.0%だった。



2026年7月25日の供給実績

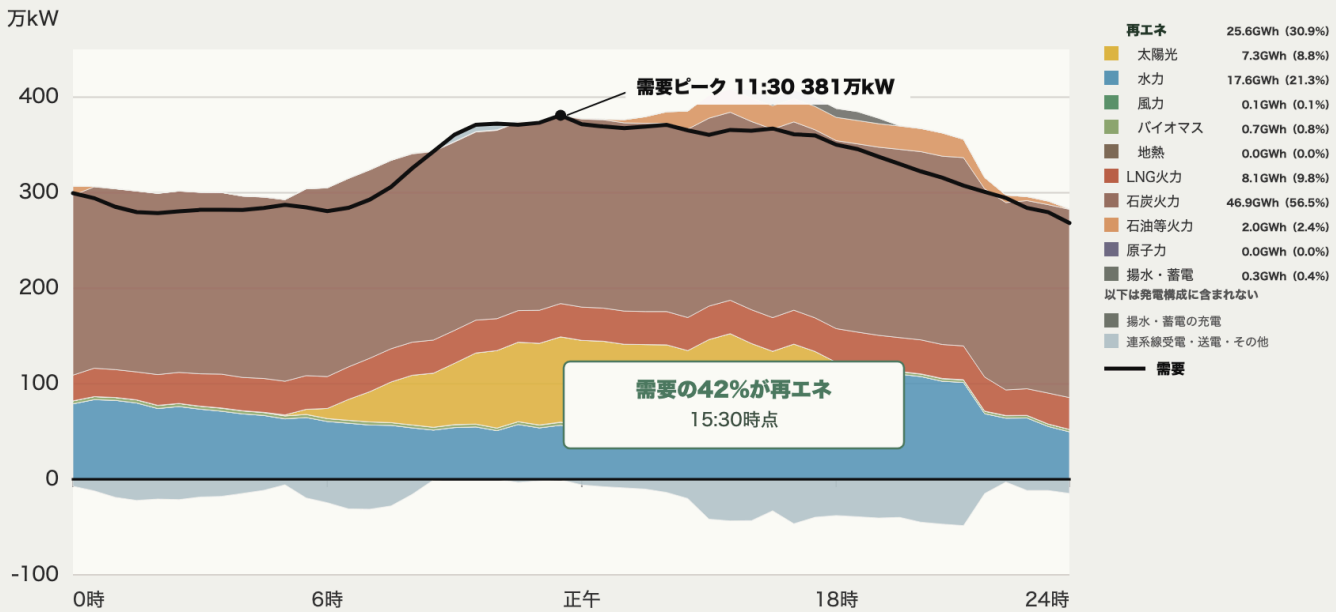
北陸エリア

再エネ

25.6GWh

(発電電力量ベース30.9%)

北陸エリア 2026年7月25日の供給実績（残余需要方式）



出典: 北陸電力送配電公表のエリア需給実績データ（2026年7月CSV）

各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。残余需要=エリア需要-水力-地熱-バイオマス-太陽光-風力。

総発電電力量

82.9GWh

需要ピーク

11:30、381万kW

連系線・その他

5.0GWhの送電

揚水・蓄電の充電

0.0GWh

出力抑制

0.0GWh

概況

北陸は、太陽光ピーク90万kW、風力ピーク1万kWで、時間別の再エネ最大需要比は41.7%だった。



2026年7月25日の供給実績

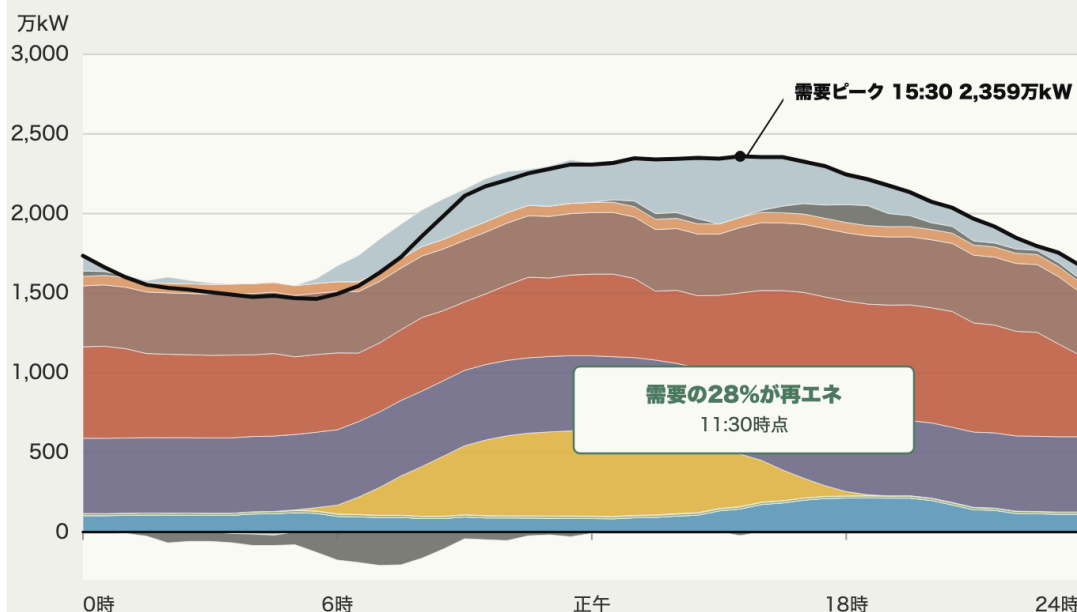
関西エリア

再エネ

76.5GWh

(発電電力量ベース17.4%)

関西エリア 2026年7月25日の供給実績（残余需要方式）



発電構成比

総発電電力量: 439GWh
(4,390万kW)

再エネ	76.5GWh (17.4%)
太陽光	43.4GWh (9.9%)
水力	29.7GWh (6.8%)
風力	0.4GWh (0.1%)
バイオマス	3.1GWh (0.7%)
地熱	0.0GWh (0.0%)
LNG火力	132.8GWh (30.2%)
石炭火力	95.8GWh (21.8%)
石油等火力	15.1GWh (3.4%)
原子力	113.5GWh (25.8%)
揚水・蓄電	5.3GWh (1.2%)
以下は発電構成に含まれない	
揚水・蓄電の充電	
連系線受電・送電・その他	

出典: 関西電力送配電公表のエリア需給実績データ（2026年7月CSV）

各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。残余需要=エリア需要-水力-地熱-バイオマス-太陽光-風力。

総発電電力量

439.0GWh

需要ピーク

15:30、2,359万kW

連系線・その他

40.6GWhの受電

揚水・蓄電の充電

9.5GWh

出力抑制

0.0GWh

概況

関西は、太陽光ピーク534万kW、風力ピーク4万kWで、時間別の再エネ最大需要比は27.6%だった。



2026年7月25日の供給実績

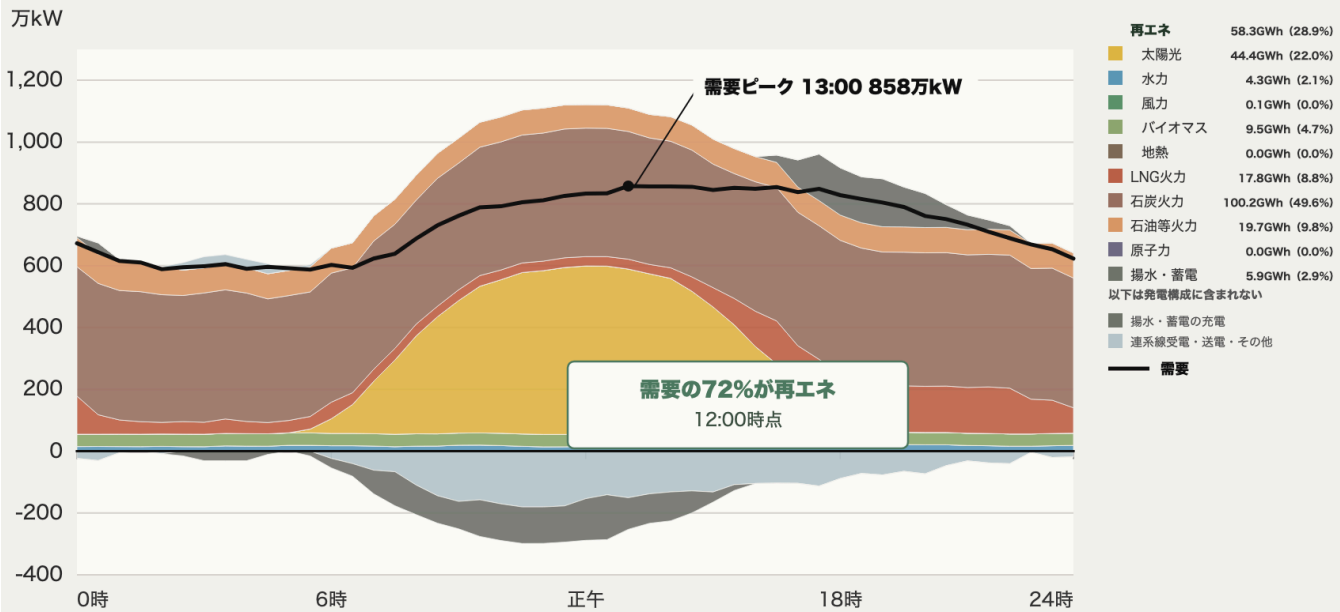
中国エリア

再エネ

58.3GWh

(発電電力量ベース28.9%)

中国エリア 2026年7月25日の供給実績（残余需要方式）



出典: 中国電力ネットワーク公表のエリア需給実績データ（2026年7月CSV）

各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。残余需要=エリア需要-水力-地熱-バイオマス-太陽光-風力。

総発電電力量

201.8GWh

需要ピーク

13:00、858万kW

連系線・その他

18.1GWhの送電

揚水・蓄電の充電

9.7GWh

出力抑制

0.0GWh

概況

中国は、太陽光ピーク544万kW、風力ピーク1万kWで、時間別の再エネ最大需要比は72.0%だった。



2026年7月25日の供給実績

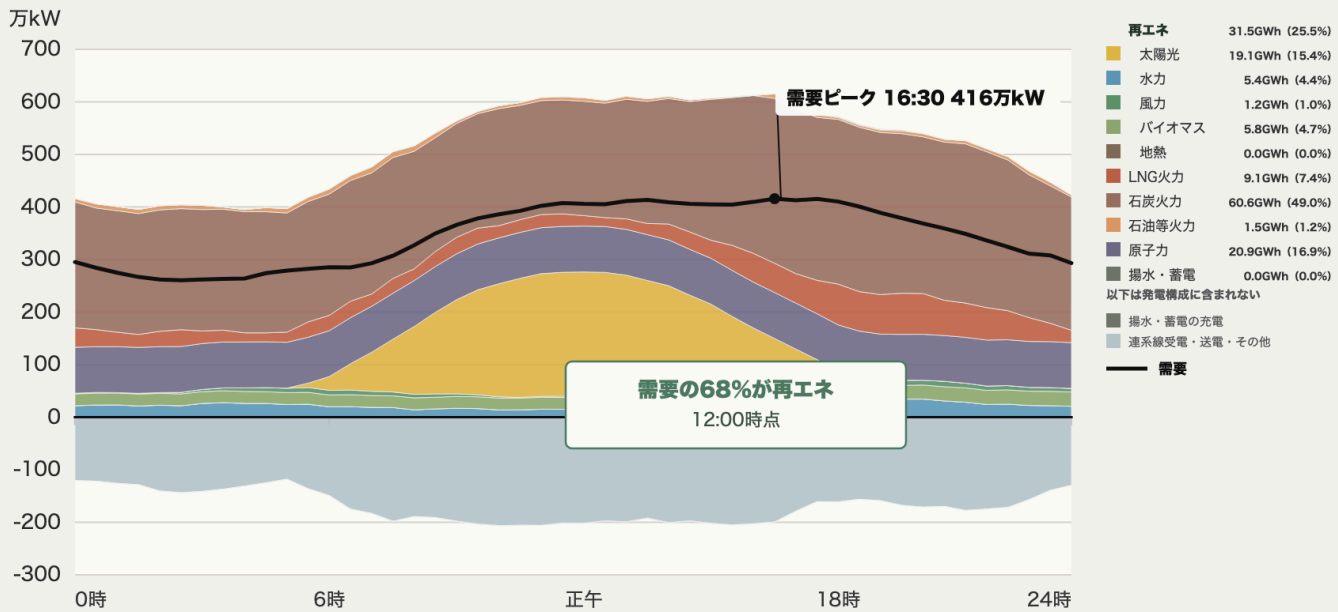
四国エリア

再エネ

31.5GWh

(発電電力量ベース25.5%)

四国エリア 2026年7月25日の供給実績（残余需要方式）



出典: 四国電力送配電公表のエリア需給実績データ（2026年7月CSV）

各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。残余需要=エリア需要-水力-地熱-バイオマス-太陽光-風力。

総発電電力量

123.7GWh

需要ピーク

16:30、416万kW

連系線・その他

40.7GWhの送電

揚水・蓄電の充電

0.0GWh

出力抑制

0.0GWh

概況

四国は、太陽光ピーク237万kW、風力ピーク10万kWで、時間別の再エネ最大需要比は68.1%だった。



2026年7月25日の供給実績

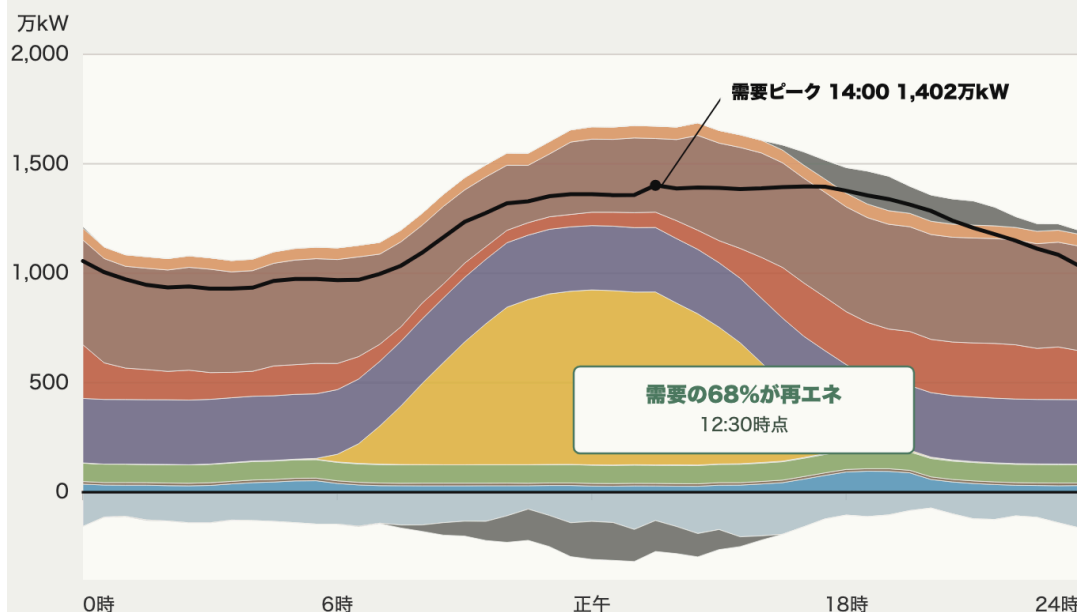
九州エリア

再エネ

97.5GWh

(発電電力量ベース29.9%)

九州エリア 2026年7月25日の供給実績（残余需要方式）



発電構成比

総発電電力量: 326GWh
(3,265万kW)

再エネ	97.4GWh (29.9%)
太陽光	64.2GWh (19.7%)
水力	9.8GWh (3.0%)
風力	0.5GWh (0.1%)
バイオマス	20.1GWh (6.2%)
地熱	2.8GWh (0.9%)
LNG火力	35.3GWh (10.8%)
石炭火力	103.0GWh (31.6%)
石油等火力	13.4GWh (4.1%)
原子力	70.8GWh (21.7%)
揚水・蓄電	6.5GWh (2.0%)
以下は発電構成に含まれない	
揚水・蓄電の充電	
連系線受電・送電・その他	

出典: 九州電力送配電公表のエリア需給実績データ（2026年7月CSV）

各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。残余需要=エリア需要-水力-地熱-バイオマス-太陽光-風力。

総発電電力量

326.4GWh

需要ピーク

14:00、1,402万kW

連系線・その他

32.4GWhの送電

揚水・蓄電の充電

9.2GWh

出力抑制

0.0GWh

概況

九州は、太陽光ピーク799万kW、風力ピーク4万kWで、時間別の再エネ最大需要比は67.9%だった。



2026年7月25日の供給実績

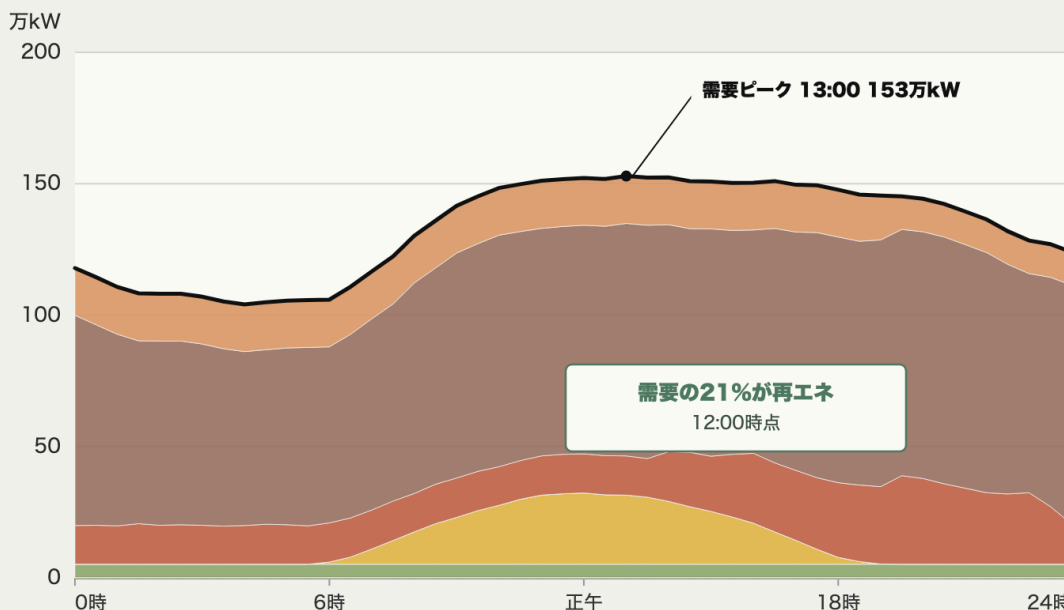
沖縄エリア

再エネ

3.4GWh

(発電電力量ベース10.5%)

沖縄エリア 2026年7月25日の供給実績（残余需要方式）



発電構成比

総発電電力量: 32GWh
(319万kWh)

再エネ	3.3GWh (10.5%)
太陽光	2.1GWh (6.6%)
水力	0.0GWh (0.1%)
風力	0.0GWh (0.0%)
バイオマス	1.2GWh (3.8%)
地熱	0.0GWh (0.0%)
LNG火力	4.7GWh (14.7%)
石炭火力	19.8GWh (62.0%)
石油等火力	4.1GWh (12.8%)
原子力	0.0GWh (0.0%)
揚水・蓄電	0.0GWh (0.0%)
以下は発電構成に含まれない	
揚水・蓄電の充電	
連系線受電・送電・その他	

出典: 沖縄電力公表のエリア需給実績データ (2026年7月CSV)

各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。残余需要=エリア需要-水力-地熱-バイオマス-太陽光-風力。

総発電電力量

31.9GWh

需要ピーク

13:00、153万kW

連系線・その他

0.0GWh

揚水・蓄電の充電

0.0GWh

出力抑制

0.0GWh

概況

沖縄は、太陽光ピーク27万kW、風力ピーク0万kWで、時間別の再エネ最大需要比は21.2%だった。